

4/15 五時

## 衆院本会議

# 医療保険改悪法案審議入り 高橋議員「国の責任を放棄」



質問する高橋千鶴子議  
員 4月14日、衆院本会議

14日の衆院本会議で審議入りし、日本共産党的高橋千鶴子議員は、「社会保障を

棄するものだ」と批判しました。

▼関連②④面

法案は、国民健康保険

(国保)の財政運営を市町

村から都道府県に移す計画

です。高橋氏は、「国保は

3500億円を超える一般

会計からの繰り入れで維持

されている。財政基盤の強

化をいうなら国庫負担を元

に戻し、財政支援を拡充す

るといふべきと求められる」と

強調。自治体に広がる乳幼

児医療助成を支援すべきで

高橋氏は、入院ベッド削

減の「地域医療構想」や、  
対する国庫負担減額のペナ  
ルティーはやめるべきだと  
のべました。

都道府県が市町村ごとに  
標準保険料率を示すことに  
ついて、「一般会計繰り入  
れなどの努力を否定し、保  
険料値上げにつながるもの  
であってはならない」と指  
摘。塩崎氏は「保険料率は  
市町村がそれぞれ定める」  
と認めた上で、「(自治体か  
らの)一般会計の繰り入れ  
は相当程度低下する」との

見解を述べた。

保険外診療を増やす「患

者申し出療養」の創設につ

いて高橋氏は「安全性の不

確かな医療が出回り、新た

な治療や薬が保険外に留め

置かれる危険がある」と指

摘。後期高齢者医療の保険

料の特例軽減の廃止、入院

料の値上げなど負担増に

ついても「医療にアクセス  
できない人を増やしかねな

い」と中止を求めました。

4/15  
水

# 国保「改革」 医療費抑制をねらう

衆院で14日に審議入りした医療保険制度改悪法案。代表質問を通じて問題点が浮き彫りとなりました。

## 保険料値上げ

法案では、国民健康保険の財政運営を市町村から都道府県に移し、都道府県が市町村に「標準保険料率」を示すとしています。

国保をめぐっては、保険料の滞納世帯360万、保険証取り上げで治療が遅れなくなる人も出ており社会問題になっています。

日本共産党的高橋千鶴子議員は「国保に対する国庫負担を元に戻し、財政支援を拡充

すべきだ」と指摘。子どもの「いい」とのべるなどじまり医療費助成に対する国庫負担削減のペナルティーもあるよう求めました。

塩崎恭久厚労相は、自治体による一般会計からの繰入額3500億円に匹敵する財政支援を行うので「繰入金は相当程度解消される」とのべ、

## 「適正化計画」

都道府県は、国保の財政運営性を示しました。

塩崎氏は、「地域医療構想」や、医療費目標を設ける「医療費適正化計画」を策定することになります。厚労相は、「地域

問題点も明らかになりました。

県の責任に負わせるものだ」とのべました。

## 保険外の拡大

都道府県は、「患者申し出療養」の導入

で、保険のきかない医療が増

やされ、安全性審査は現行の

6カ月から6週間に、前例が

ある場合は2週間に大幅短縮

されます。

高橋氏は、「重い負担で医療

にアクセスできない人を増やす」と反対。他党も「負担増

について「国民に説明すべきだ」(自民)とのべましたが、

厚労相は「負担の公平性をは

かるものだ」とのべ、低所得者に対する負担増を正当化しました。

高橋氏は、医師不足による

用への道が遠のいたり、閉ざ

されたことがあつてはならない」と求めました。

与党からも「保険適用されず医療格差を広げる懸念があ

る」(公明党)との質問が出ました。厚労相は「将来的に保険適用につなげていく」と

足を固定化しかねない」と強調。「医療費抑制策を都道府

保険料の特例軽減の廃止、入院食費の値上げ、紹介状なしで大病院を受診する場合の定期負担など「老いも若きも負担増」が盛り込まれていま

る」(公明党)との質問が出ました。厚労相は「負担の公平性をはかるものだ」とのべ、低所得者に対する負担増を正当化しました。